

I 調査結果の概要

1 漁業就業者数（１年間の海上作業従事日数が30日以上の方）

(1) 男女別漁業就業者数

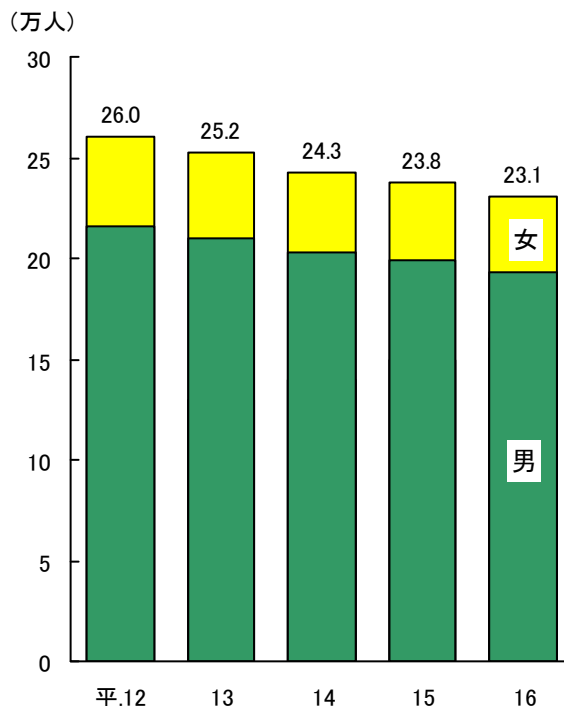
平成16年11月1日現在の漁業就業者数は23万1,000人で、前年に比べ7,370人（3.1％）減少した。

これを男女別にみると、男は19万3,410人（漁業就業者数に占める割合は83.7％）、女は3万7,590人（同16.3％）で、それぞれ前年に比べ2.9％、4.1％減少した。

男の漁業就業者について年齢階層別の割合をみると、60歳以上の割合は46.7％で、前年に比べ0.9ポイント増加した。

このうち、65歳以上の割合は34.5％で、前年に比べ0.7ポイント増加した。

図 1 男女別漁業就業者数の推移



第 1 表 男女別・年齢区分別(男)漁業就業者数

区 分	平成 16 年	15 年	前 年 差	増 減 率	構 成 比	
					平成 16 年	15 年
	人	人	人	%	%	%
総 数	231 000	238 370	△ 7 370	△ 3.1	100.0	100.0
男	193 410	199 160	△ 5 750	△ 2.9	83.7 (100.0%)	83.6 (100.0%)
15 ～ 24 歳	5 480	6 510	△ 1 030	△ 15.8	2.4 (2.8%)	2.7 (3.3%)
25 ～ 39 歳	24 170	25 120	△ 950	△ 3.8	10.5 (12.5%)	10.5 (12.6%)
40 ～ 59 歳	73 380	76 250	△ 2 870	△ 3.8	31.8 (37.9%)	32.0 (38.3%)
60 歳 以 上	90 370	91 280	△ 910	△ 1.0	39.1 (46.7%)	38.3 (45.8%)
うち、65歳以上	66 630	67 270	△ 640	△ 1.0	28.8 (34.5%)	28.2 (33.8%)
女	37 590	39 210	△ 1 620	△ 4.1	16.3	16.4

注：構成比の（ ）内数値は、男の漁業就業者の計に対する割合である。

(2) 自営・雇われ別漁業就業者数

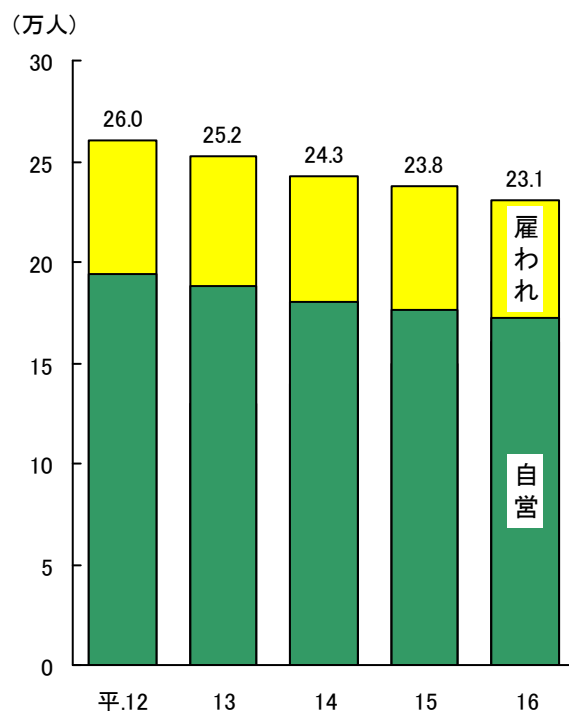
漁業就業者を自営（自営漁業への就業を主とする者）・雇われ（雇われて漁業に従事することを主とする者）別にみると、自営の漁業就業者は17万1,960人、雇われの漁業就業者は5万9,030人で、それぞれ前年に比べて3,860人（2.2%）、3,510人（5.6%）減少した。

このうち、自営漁業のみに従事した漁業就業者は16万6,100人（自営の96.6%）、漁業雇われのみに従事した漁業就業者は5万3,330人（雇われ漁業就業者の90.3%）となっている。

また、自営と雇われの両方に従事した漁業就業者のうち、主に自営漁業に従事した（自営の海上作業従事日数が多かった）漁業就業者は5,870人、主に雇われて漁業に従事した（雇われの海上作業従事日数が多かった）漁業就業者は5,710人となっている。

男女別の構成割合をみると、自営の79.6%、雇われの95.8%を男が占めている。

図2 自営・雇われ別漁業就業者数の推移



第2表 自営・雇われ別漁業就業者数

区 分	平成16年	15年	前年差	増減率	構 成 比	
					平成16年	15年
	人	人	人	%	%	%
総 数	231 000	238 370	△ 7 370	△ 3.1	100.0	100.0
自 営 漁 業	171 960	175 830	△ 3 870	△ 2.2	74.4 (100.0%)	73.8 (100.0%)
自 営 漁 業 の み	166 100	169 070	△ 2 970	△ 1.8	71.9 (96.6%)	70.9 (96.2%)
自 営 漁 業 が 主	5 870	6 760	△ 890	△ 13.2	2.5 (3.4%)	2.8 (3.8%)
漁 業 雇 わ れ	59 030	62 550	△ 3 520	△ 5.6	25.6 (100.0%)	26.2 (100.0%)
漁 業 雇 わ れ の み	53 330	54 850	△ 1 520	△ 2.8	23.1 (90.3%)	23.0 (87.7%)
漁 業 雇 わ れ が 主	5 710	7 700	△ 1 990	△ 25.8	2.5 (9.7%)	3.2 (12.3%)

注：構成比の（ ）内数値は、自営漁業及び漁業雇われの計に対する割合である。

2 漁業世帯数

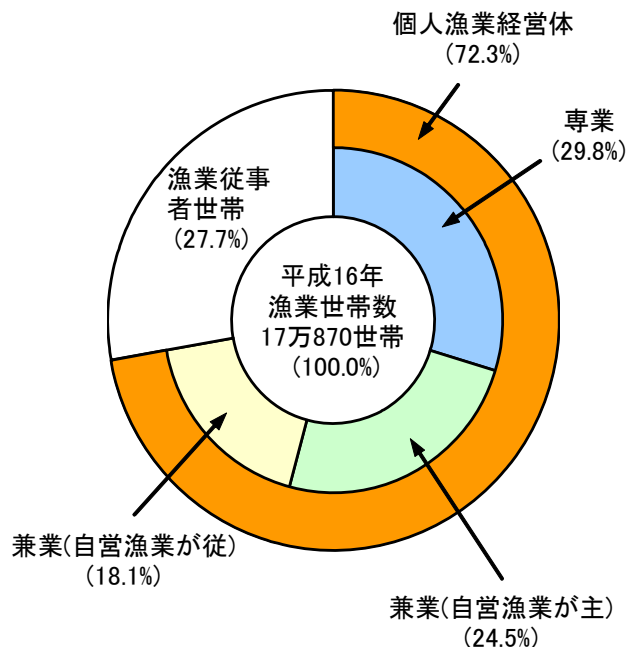
漁業世帯数は17万870世帯で、前年に比べ4,950世帯(2.8%)減少した。

漁業世帯数を世帯区分ごとにみると、個人漁業経営体は12万3,610世帯、漁業従事者世帯は4万7,260世帯で前年に比べそれぞれ2,320世帯(1.8%)、2,630世帯(5.3%)減少した。

また、個人漁業経営体について専兼業別にみると、専業は5万850世帯、兼業のうち自営漁業が主の世帯は4万1,870世帯、兼業のうち自営漁業が従の世帯は3万890世帯となっている。

この結果、個人漁業経営体の専兼業別構成割合は専業は29.8%(前年と比べて1.8ポイント増)、兼業のうち自営漁業が主の世帯は24.5%(同0.2ポイント増)、兼業のうち自営漁業が従の世帯は18.1%(同1.2ポイント減)となった。

図3 漁業世帯数の構成割合



第3表 漁業世帯数

単位：世帯

区 分	計	個 人 漁 業 経 営 体				漁業従事者 世帯
		小計	専業 (自営漁業のみ)	兼 業		
				自営漁業が主	自営漁業が従	
平 成 16 年	170 870	123 610	50 850	41 870	30 890	47 260
15 年	175 820	125 930	49 300	42 650	33 980	49 890
対 差	△ 4 950	△ 2 320	1 550	△ 780	△ 3 090	△ 2 630
対 比 (%)	97.2	98.2	103.1	98.2	90.9	94.7
(増減率(%))	(△2.8)	(△1.8)	(3.1)	(△1.8)	(△9.1)	(△5.3)
構成比 16年 (%)	100.0	72.3	29.8	24.5	18.1	27.7
15年 (%)	100.0	71.6	28.0	24.3	19.3	28.4

3 漁業世帯員数

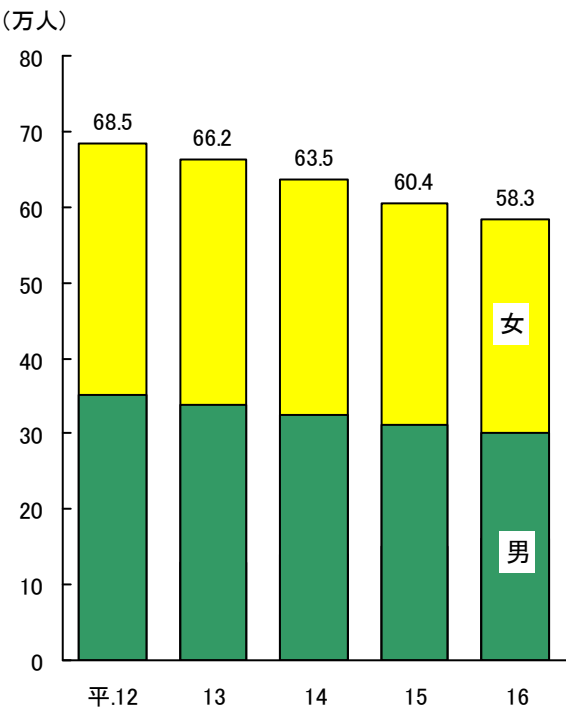
漁業世帯員数は58万3,280人で、世帯数の減少に伴い前年に比べ2万220人(3.4%)減少した。

これを男女別にみると、男性は30万800人、女性は28万480人で、前年に比べそれぞれ1万3,900人(4.1%)、1万2,940人(4.0%)減少した。

また、世帯区分別にみると個人漁業経営体の世帯員は42万8,120人、漁業従事者世帯の世帯員は15万5,160人で、前年に比べそれぞれ1万1,230人(2.6%)、8,990人(5.5%)減少した。

個人漁業経営体の世帯員について専兼業世帯別にみると、専業世帯の世帯員は12万5,210人、兼業世帯のうち自営漁業が従の世帯の世帯員は11万6,510人で、前年に比べてそれぞれ1万2,350人(9.0%)、1万6,710(12.5%)減少した。一方、兼業世帯のうち自営漁業が主の世帯の世帯員は18万6,420人で、前年に比べて1万7,850人(10.6%)増加した。

図4 男女別漁業世帯員の推移



第4表 漁業世帯員数

単位：人

区 分	計	個 人 漁 業 経 営 体				漁業従事者 世帯
		小計	専業 (自営漁業のみ)	兼 業		
				自営漁業が主	自営漁業が従	
平 成 16 年	583 280	428 120	125 210	186 420	116 510	155 160
15 年	603 500	439 350	137 560	168 570	133 220	164 150
対 差	△ 20 220	△ 11 230	△ 12 350	17 850	△ 16 710	△ 8 990
対 比 (%)	96.6	97.4	91.0	110.6	87.5	94.5
(増減率(%))	(△3.4)	(△2.6)	(△9.0)	(10.6)	(△12.5)	(△5.5)
構成比 16年(%)	100.0	73.4	21.5	32.0	20.0	26.6
15年(%)	100.0	72.8	22.8	27.9	22.1	27.2